

富山県におけるアオマツムシの分布資料

著者	根来 尚, 澤田 昭芳
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	37
ページ	103-105
発行年	2013-06-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=992

短 報

富山県におけるアオマツムシの分布資料*

根来 尚

富山市科学博物館

939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

澤田 昭芳

富山県総合教育センター

930-0866 富山市高田525

Distributional notes on *Truljalia hibinonis* in Toyama Prefecture

Hisashi Negoro and Akiyoshi Sawada

アオマツムシはよく知られた外来昆虫で、今日では本州・四国・九州に広く分布し、太平洋側では岩手県、日本海側では山形県が分布北限である（日本直翅類学会、2006）。

富山県での記録としては、1984年秋に富山大学構内で鳴き声が確認されていて、これが確実な最初のものである（根来・瀬川、1988）。

富山県内での生息確認場所は、1988年時点では、富山市街地の一部と市街地近隣の呉羽丘陵の一部に限られていたようであるが、その後、富山市街地・丘陵地に街路樹や公園の植栽を中心に広がり、富山県に侵入が確認されてから十数年ほどたった1995年～2000年頃には、高岡市街、砺波市街、魚津市街、黒部市街、また、庄川河川敷、常願寺川河川敷、富山市郊外の雑木林等でも鳴き声が確認されるようになり（根来・荒木、1999）、現在では、富山平野一円で8月下旬から10月下旬にかけ、夜間（9月下旬からは昼間にも）うるさいほどに鳴き声が聞かれるようになっている。しかし、その分布がいかほど山間部にまで至っているかについての情報は無く、現時点での分布境界は明らかではなかった。

現在、富山市科学博物館では「富山市の身近な自然調査」と題し市民参加の生きもの調査を行っており、そのなかにアオマツムシも含まれている。調査結果は随時ホームページ上に掲載されているが、市街地からの報告がほとんどであり、郊外からの報告は数少ない。

アオマツムシは、鳴き声による生息確認が容易である

ことから、分布変動の調査に利用しやすい昆虫である。今日での分布境界を明らかにしておくことは、今後の分布変動を確実に捉えるためにも必要なことであろう。

筆者らは、夕刻、日が落ちてアオマツムシの鳴き声が聞かれる時間帯に、県内の数カ所（主に富山市外）のルートで、自家用車を走行させながらアオマツムシの鳴き声を聞き取り、確認できた場所を地図上に記入する方法で、アオマツムシの分布調査を行ったので報告しておく。まだ、十分に富山県内での分布境界を捉えられたとは言いがたいが、より詳しい調査が行われる契機としたい。

今回の調査にあたっては、富山県昆虫同好会の北村征三郎氏からは砺波市周辺について、立山カルデラ砂防博物館の後藤優介氏からは立山町千寿ヶ原周辺について情報提供をいただいた。富山市科学博物館の牧 静枝氏からは黒部市・舟橋村・上市町・立山町・射水市・高岡市の多くの地点での有用な情報提供をいただいた。厚く感謝申し上げます。

調査日時・ルート・天候およびアオマツムシ鳴き声の有無

今回の調査の目的は、平地から山間地にかけての生息限界の確認であるので、自家用車の走行ルートは平地から山間地に至る南北方向が主なものとなっている。以下に、調査日時（全て2012年）、調査ルート、調査時の天候と主な場所でのアオマツムシ鳴き声確認の有無を記す。

「鳴」は鳴き声が確認されたことを示す。「不鳴」は確認されなかったことを示す。なお、標高100m未満の地点では標高は記さない。

調査者：根来 尚

1. 9月8日（18：30～21：50）、魚津市～小矢部市、晴れ

魚津駅（18：30）：鳴、魚津市本江（18：40）：鳴、同（20：30）：鳴、北陸自動車道魚津IC（20：40）：鳴、有磯海SS：鳴、滑川IC：鳴、立山IC：鳴、富山IC：鳴、小杉IC：鳴、JR高岡駅前（21：30）：鳴、JR福岡駅前：鳴、JR石動駅前（21：50）：鳴

2. 9月10日（19：00～20：30）、平村～小矢部市、曇り

国道156号線たいら道の駅（標高360m、19：00）：不鳴、南砺市上梨（300m、19：20）：不鳴、下梨（19：30）：不鳴、相倉（400m）：不鳴、梨谷（580m、19：40）：不鳴、国道304号線五箇山トンネル下方（450m）：鳴、国道304号線展望台（340m、20：00）：鳴、南砺市大鋸屋（200m）：鳴、千福（160m）：鳴、土生（140m）：鳴、

* 富山市科学博物館研究業績第450号

才川七 (150m) : 鳴, 広谷 (160m) : 鳴, イオックスア
ローザ (350m) : 鳴, 小山 (120m) : 鳴, 福光道の駅 :
鳴, 小矢部市小森谷 (200m, 20 : 20) : 鳴, 平桜 : 鳴,
殖生 : 鳴, JR石動駅前 : 鳴, 安楽寺 (100m, 20 : 30) : 鳴
3. 9月15日 (18 : 00~20 : 30), 砺波市~小矢部市,
晴れ

砺波市庄川町雄神橋 (18 : 00) : 鳴, 庄川町庄 (100m) :
鳴, 三条山下 (250m) : 鳴, 庄川町隠尾・鉢伏山直下 (450
m, 18 : 30) : 鳴, 庄川町名が原 (200m) : 鳴, 湯谷温
泉 (160m) : 鳴, 南砺市利賀村栗当 (360m) : 鳴, 利賀
村脇谷 (460m) : 不鳴, 国道471号線利賀道の駅 (500m,
19 : 00) : 不鳴, 国道156号線ドライブイン小牧 (200m) :
鳴, 利賀村長崎大橋 (200m) : 不鳴, 利賀村新山 (300
m, 19 : 45) : 不鳴, 砺波市庄川町示野 (100m) : 鳴,
五郎丸 : 鳴, 三島町 : 鳴, 狐島 : 鳴, 小矢部市金屋本江 :
鳴, 小矢部市石動 (20 30) : 鳴

4. 9月21日 (18 : 20~20 : 00), 上市町~小矢部市,
晴れ後曇り

上市町伊折 (460m, 18 : 20) : 不鳴, 蓬沢 (330m) :
不鳴, 折戸峠 (400m) : 不鳴, 稲村・リサイクルセンター
上方 (300m) : 鳴, 釈泉寺 (120m) : 鳴, 湯上野 (100
m) : 鳴, 上市町役場前 (18 : 40) : 鳴, 北陸自動車道立
山IC (19 : 00) : 鳴, 流杉 : 鳴, 富山IC : 鳴, 呉羽P :
鳴, 高岡P : 鳴, 砺波IC : 鳴, 小矢部川SS (19 : 45) :
鳴, 小矢部市石動 : 鳴,

5. 9月29日 (17 : 00~20 : 00), 立山町~富山市大山
町~富山市大沢野町, 曇り・風無し

北陸自動車道立山IC (17 : 00) : 鳴, 立山町沢端 : 鳴,
沢新 : 鳴, 米道 (140m) : 鳴, 岩峯寺 (200m) : 鳴, 砺
津 (17 : 30) : 鳴, 横江 (280m) : 鳴, 千垣 (300m) :
不鳴, 芦峯寺 (400m) : 不鳴, 富山市大山町原 (480m) :
不鳴, 家族旅行村 (540m, 18 : 00) : 不鳴, 立山町千寿ヶ
原 (460m) : 不鳴, 富山市大山町本宮 (360m) : 不鳴,
小見 (有峰口) (310m) : 鳴, 亀谷温泉 (400m) : 不鳴,
中地山発電所 (300m, 18 : 30) : 不鳴, 牧地区コミュニ
ティーセンター (290m) : 鳴, 松木 : 鳴, 岡田 (250m) :
鳴, 上野 : 鳴, 上滝 (160m) : 鳴, 大浦 : 鳴, 青柳 : 鳴,
富山市大沢野町東大久保 : 鳴, 坂本 (120m) : 鳴, 寺家
(160m) : 鳴, 猿倉山 (300m, 19 : 00) : 鳴, 笹津 (120
m) : 鳴, 楡原 (150m) : 鳴, 下大久保 : 鳴, 下熊野 :
鳴, 富山IC (19 : 00) : 鳴

6. 10月5日 (16 : 45~19 : 00), 小矢部市~高岡市~
氷見市, 晴れ・風無し

小矢部市桜町 (16 : 45) : 鳴, 宮島峽 : 鳴, 子撫川ダ
ム (100m) : 鳴, 高岡市福岡町五位ダム (200m) : 鳴,
福岡町沢川 (340m) : 鳴, 宝達山へ抜ける峠 (460m,

17 : 30) : 不鳴, 峠下方の雑木林 (420m, 17 : 35) : 鳴,
福岡町花尾 (200m) : 鳴, 石堤 : 鳴, 能越自動車道高岡
北IC (18 : 00) : 鳴, 氷見北IC : 鳴, 氷見市余川 : 鳴,
上余川 : 鳴, 寺尾 (100m) : 鳴, 懸札 (250m, 18 : 30) :
鳴, 氷見市街 : 鳴, 上泉 : 鳴, 高岡市東海老坂 : 鳴
7. 10月9日 (17 : 30~19 : 00), 富山市八尾町~山田
村~砺波市, 晴れ・風無し

八尾町桐谷上流久婦須川ダム (380m, 17 : 30) : 不鳴,
久婦須川ダム上流 (360m) : 不鳴, 八尾町桐谷集落・海
韻館周辺 (300m) : 不鳴, コスモスポーツランド入口周
辺 (280m, 17 : 50) : 鳴, 八尾町宮腰本法寺 (180m) :
鳴, 八尾町檜尾 (100m) : 鳴, 八尾町下新町 (18 : 00) :
鳴, 八尾町東新町 : 鳴, 山田村宿坊 (200m) : 鳴, 山田
村湯 (150m) : 鳴, 山田村赤目谷 (300m) : 鳴, 山田村
臼井谷 (160m) : 鳴, 婦中町高山 (100m) : 鳴, 婦中町
外輪野 : 鳴, 婦中町吉谷 (100m) : 鳴, 砺波市頼成 : 鳴,
砺波市徳万 : 鳴, 砺波市矢木 : 鳴, 砺波市高堂 (18 : 30) :
鳴, 砺波市鷹栖出 : 鳴, 小矢部市金屋本江 : 鳴, 石動本
町 (19 : 00) : 鳴

調査者 : 澤田昭芳

1. 10月10日 (18 : 00~18 : 30), 富山市~滑川市~魚
津市, 晴れ後曇り

富山市五福 (18 : 00) : 鳴, 八幡 : 鳴, 新屋 : 鳴, 水
橋柴草 : 鳴, 水橋北馬場 : 鳴, 滑川市上梅沢 : 鳴, 大掛 :
鳴, 魚津市川原 : 鳴, 大光寺 : 鳴, 観音堂 : 鳴, 鹿熊
(100m) : 鳴, 角川ダム (140m) : 鳴, 角川ダム上流
(220m) : 鳴, 古鹿熊 (220m) : 不鳴, 同 (300m, 18 :
30) : 不鳴

2. 10月13日 (17 : 50~18 : 10), 魚津市片貝川, 晴れ
後曇り

魚津市友道 (17 : 50) : 鳴, 魚津市石垣 (120m) : 鳴,
片貝谷発電所 (170m) : 鳴, 山女 (200m) : 不鳴, 東蔵
(240m, 18 : 10) : 不鳴

3. 10月16日 (17 : 30~18 : 00), 宇奈月町~魚津市,
晴れ後曇り

黒部市宇奈月温泉 (240m, 17 : 30) : 不鳴, 宇奈月町
音沢 (220m) : 不鳴, 宇奈月町愛本橋 (140m) : 不鳴,
宇奈月町下立 (120m) : 鳴, 宇奈月町浦山 (110m) : 鳴,
宮野運動公園下 (100m) : 鳴, 黒部市石田野 (160m) :
鳴, 魚津市天神山トンネル周辺 (100m, 18 : 00) : 鳴

牧 静枝氏提供資料

以下の地点で鳴き声を確認

9月22日 (22 : 00前後), 高岡市二塚・射水市布目沢・
射水市南太閤山

9月27日 (21:30~21:45), 上市町西中町・上市町和合117

9月28日 (22:10~22:20), 黒部国際文化センターコーラレ・黒部IC

10月6日 (19:30~20:30), 舟橋村竹内・舟橋村竹鼻・立山町横沢・立山町ニツ塚・立山町田添・立山町沢端・立山町米沢・立山町前沢

調査結果の概要

上記の結果を図1に示した。

まだ、調査場所が少ないので確定的なことは言えないが、今回の結果から次のようなことが考えられる。

1. 県西部の尾根筋では、標高400mを超える地点まで鳴き声が聞かれ、県中・西部の谷筋では、300mを超えると鳴き声が聞かれない。県中部の尾根筋では、標高300m程度の地点まで鳴き声が聞かれ、東部では尾根筋の調査はなされていない。県東部の谷筋では、おおよそ200mを超えると鳴き声が聞かれない。

2. 富山県東部と西部では分布標高に差があり、西部では東部に比べより標高の高い所まで生息する。これは、侵入時期の違いにより、より早くに侵入した県西部でより高い所まで生息が見られるのかもしれない。

3. 尾根筋と谷筋とでは分布標高に違いがあり、尾根筋では谷筋に比べより標高の高い所まで生息する。尾根筋の方が同一標高では平均気温が高くなるのかもしれない。また、同一標高では尾根筋の方が距離的により平地に近いからかもしれない。

今後、追加の調査を行ってより詳しい分布資料を集め、現時点におけるより正確なアオマツムシの富山県内での分布を確定したいものである。

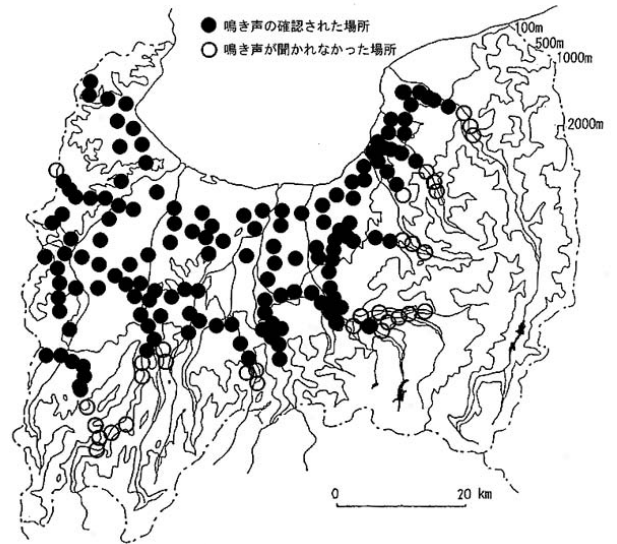


図1 今回確認された富山県内のアオマツムシ分布

文献

- 日本直翅類学会編, 2006. 「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」 xxxvi+687pp. (北海道大学出版会).
- 根来 尚・瀬川哲夫, 1988. 富山県の直翅類(I). 富山市科学文化センター研究報告, 12: 37-95.
- 根来 尚・荒木克昌, 1999. 高岡市でのタンゴコオロギの採集記録. 富山市科学文化センター研究報告, 22: 143-144.
- 富山市科学博物館, 2013. 富山市の身近な自然調査2012-2013, 分布図: <http://www.tsm.toyama.toyama.jp/?tid=100382>